



太工通信

令和4年度 第12号

脱却高校生自転車事故 ワースト1プロジェクト 太田工業の取り組みが掲載されました

脱却 高校生自転車事故 **ワースト1** プロジェクト

BRAKES ON BIKE CRASH
自転車事故にブレーキを

この家で大丈夫？
2021年都道府県別
通学時自転車事故件数ランキング

順位	都道府県	事故件数
1位	群馬県	111.95件
2位	静岡県	64.29件
3位	徳島県	41.26件
4位	香川県	37.64件
5位	佐賀県	34.72件

高校生の通学時1万人当たり自転車事故ランキング

順位	都道府県	事故件数
1位	群馬県	33.07件
2位	香川県	18.90件
3位	徳島県	14.93件
4位	佐賀県	14.19件
5位	栃木県	13.01件

主編：(株)上毛新聞社 監修：群馬県 群馬県教育委員会 群馬県警察 協力：(一社)自転車協会 自転車の安全利用促進委員会

BRAKES ON BIKE CRASH High School Vol.1

ヘルメット着用率ほぼ100%で定着

太田工業高校

生徒1人1人が啓発動画を視聴できる

自転車事故から生徒の命を守るため、太田工業高校は学校を挙げてヘルメットの着用に向けた取り組みに力を入れています。校内の駐輪場には地域へ宣言するかのよう、着用を促すのぼり旗を掲げました。

生徒たちも積極的に啓発活動を行っています。生徒会では定期的に、職員と一緒に校門に立ち、登校時の様子を見守ります。定期的に行う自転車点検ではヘルメットチェックも欠かしません。交通安全委員会では昼食時の校内放送を活用して注意喚起を促します。委員長の伊原さん(2年)は「放送を継続することで生徒の意識が変わってきた」と手応えを感じている様子。また伊原さんは高校生の自転車事故防止を目的とした「県サイクルサミット」に参加し、交通事故の実演を体験すると、その様子を自主的に動画編集し各クラスで共有できるように働きかけました。こうした学校と生徒たちの地道な活動が実を結び、登校時の着用率がほぼ100%で定着しています。

女子生徒は髪型を気にするのでは？という疑問に対し、生徒会役員の豊島さん(1年)は「抵抗はあるけれど、身を守るために大事なこと。登下校以外でも自転車に乗るときは被るべき」と前向きな意見を述べています。課題は下校時。一斉に登校する朝とは異なり、部活動の終わる時間によって生徒の帰宅もまばら。そこに油断が生じ、完全に定着化できない現状があるようです。生徒会役員のメリカドさん(1年)は「下校時のヘルメット着用率を上げたい。生徒会で積極的に声掛けをしていけたら」と、今後の抱負を語ってくれました。